



いっぺいといっぷく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.89 子どもを不幸にするいちばん確実な方法

『子どもを不幸にするいちばん確実な方法はなにか、それをあなたがたは知っているだろうか。それはいつでも何でも手に入れられるようにしてやることだ』

18世紀のフランスの思想家ジャン=ジャック・ルソーの教育論「エミール」に出てくる有名な一節です。200年以上も前に書かれた教育論なのですが、今の時代にも当てはまる、いやむしろ、経済が発展し物質的に豊かになり、まさに何でも手に入れやすい環境が整った現代にこそ、よく考えなければならない言葉だと思います。

この言葉には、続きがあります。

『拒絶になれていない子どもは、欲しいものが手に入らないことより、拒絶されたことを一層辛く考えることになる』

「何でも望み通りにならない」ということを、人は、多様な価値観や考えを持った人との関わりの中で学びます。自然からも学ぶことがあるでしょう。ただ、「何でも望み通りになる状況」を与えられ続けてきた子どもは、望み通りにならない状況になったときに、「拒絶された」と感じ、誰かを憎んだり、何でも人のせいにして自ら考えることを放棄したりするかもしれません。

よく「我慢できない子どもが増えている」と言われますが、子どもの責任で片付けられることではないと思います。我々大人が、子ども達の先回りして、失敗ないように環境を整えたり、与えすぎたりしてきたことのツケが、子どもたちに回ってきているのです。

ジャン=ジャック・ルソーの言葉をまちづくりに当てはめると、「行政が何でも思い通りになるよう環境を整えすぎると市民を不幸にしてしまう」ということになるのではないではないかと私は考えました。

広報7月号の「いっぺいといっぷく」でも書きましたが、私たちは、この長久手市に泊まっているのではなく、暮らしています。暮らす上で何か困りごとがあれば、みんなで知恵を出し、話し合い、解決していく。こうしたことの積み重ねが「幸せを感じるまち」をつくっていくのだと私は思います。そして、わずらわしくても、「自分たちで考え、工夫して、苦労して、何かを成し遂げ、結果、暮らすまちが良くなる」という経験は、自分の人生も豊かにし、大人がそのような姿や経験を子ども達に見せることで、次の世代の子どもたち、孫たちの豊かな人生にもつながっていくのではないのでしょうか。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小校区まちづくり協議会 検索 です。

西小校区共生ステーションには、「まちの相談員」がいます。困りごと、何か聞いてほしいこと、地域の中で改善してほしいこと、地域のためにこんな活動やイベントをやりたい、など何でもお伺いします。いつでもお気軽にお話しにいらしてください。お待ちしております。

例年8月開催の従来通りの「夏祭り」は、
中止としました。代替イベント検討中です。

☎0561-64-5331 西小校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 市が洞小学校 イメージキャラクター
小学校区まちづくり協議会
<https://ichigahora.jimdofree.com/> (協議会HP)

■夏休みラジオ体操を行います。

子ども達の夏休みに合わせて、お父さん、お母さんと一緒に、お近くの公園(蟹原公園・猪洞公園・市が洞1丁目公園・市が洞3丁目公園・片平1丁目公園・南部公園)で土・日曜日ラジオ体操をしませんか。誰でも参加できます。お気軽にどうぞ。

時間は、朝7時30分～7時45分頃まで

具体的な実施日等の詳しいことは、協議会ホームページか事務局(070-2227-0081)までお問合せください。

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

